十夕日刊
磐城時報
福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷人　福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十四
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五拾錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

鐵道納炭價格は二十日頃までには判明
常磐炭礦の大問題

鐵道當局が收入減の塡補策として常磐炭の納炭契約更改期に際し噸當り七十錢以上一圓まで値下げする意嚮を有してゐるのに驚愕した各炭礦は既報の如く當業者連が大小聯盟の上當局に對し常磐炭礦の重大問題だとなして値下げ阻止の猛運動を試みてゐるが、最近某方面の傳へるところによると當局は明年度の常磐炭契約を大体において前年度契約を踏襲する模樣だとのことであるが、眞僞の程度はこの二十日ころまでに判明するも果して噂通り實現されるとなれば營業炭方面へまで可なりの好影響が齎されるので各炭礦では噂の實現を少からず期待してゐる。

平、水戸間で行つた
鐵道燃料炭の試驗

鐵道省が燃料炭の節約をはかる前提として去る二日から常磐線平、水戸兩驛間の旋客列車で行はれた最初の燃料炭消費試驗は八日で終了した、試驗に用ひた燃料炭は入山第四坑塊炭と、撫順粉炭五、入山四坑塊炭五の等分混合炭の兩種類で何れも三日づゝ上下一往復列車によつて行はれた、その成績を見れば蒸發力は一キロ一〇〇、二三五リットルに對し混合炭は一〇〇、四八五リットルで總体において三パーセントだけ混合炭が利益といふ結果がもたらされたが減收に惱む當局としてはたとへ僅かに三パーセントの利益でも一ヶ年の消費量から見るとそこに莫大な利益が生ずるわけである。

▲大浦村會召集　大浦村會は二十六日開催し昭和六年度豫算三萬一千三百一圓を附議する。

高木中佐
明日出發
軍務を帶びて渡歐

石城郡大野村出身海軍中佐高木武雄氏は軍務を帶びて渡歐する事既報の如くであるが、十一日午後一時東京驛發特急富士で出發する事に決定した。

▲青訓終了式　四倉町青年訓練所終了式は十日午後一時から同町小學校で擧行した。

▲內鄕武德殿　石城郡內鄕村の武德殿は去る村會にて村營に移管する事となり維持費として一ヶ年百二十圓の補助を決定した。

▲豐間青年總會　石城郡豐間村青年團春期總會は八日午前十時より同村小學校に開催した。

▲鹿島忠魂祭　石城郡鹿島村在鄕軍人分會主催忠魂祭は三月十日午前十時より同村大字走熊字七本松忠魂碑前で執行し余興として活動寫眞を上映した。

▲教育講演會　石城郡湯本町教育會では三月十三日午後一時から同町小學校で福島縣教育新聞社作山美八氏を招待し通俗講演をなすと。

小川村の道路改修

石城郡上小川村大字內倉より字植ノ內縣道に通ずる村道約二里は從來惡路で小學生や車馬の通行に不便を感じてゐたが、去る八日戸渡官行製炭所から人夫約三十名出動し三日間に亘つて改修した結果完全な道路となつたので通行者が大喜びである。

平商校卒業式
榮えある優等生三名

平商業學校第十一回卒業式は十二日午前九時擧行するが、卒業生左の如くである

▲優等生　平町渡邊茂、同武田昇、好間村鈴木正好

▲無欠席生　伊東傳太郎、新妻利勝、渡邊茂、片寄武、叶多芳衛、高橋正司、高崎義高、名畑富能、永山忠男、赤津喜一、齋藤喜三郎、佐野榮治、綠川莊吉、鴫原勇、人見四郎、鈴木政好、鈴木健太郎。

▲卒業生　石川正衛、○伊東傳太郎、西郡熊夫、○新妻利勝、新谷秀太郎、星野嘉久治、外村武夫、富森健一、◎○渡邊茂、渡邊好雄、渡邊昇、渡邊清、渡邊三千雄、若松政一、笠原三男、○片寄武、片寄二、金賀文彥、○叶多芳衛、賀澤政江、吉野義美、吉成一、◎武田昇、武田善之助、○高橋正司、高萩仁平、高橋清之助、○高崎義高、田山房一、薗部萬年、根本正弘、根本勝美、根本寅男、長瀨修造、○名畑富能、○永山忠男、○永井滿雄、村山政一、○村田清作、○內藏武雄、上田滿、宇佐美武之、大井川宗平、大津賀清吉、小澤政二、小野廣、大谷誠、大木茂、○小貫武志、岡部保之、隈川幸夫、○栗原好雄、○松木菊郎、○馬目信茂、馬目晴夫、○小齋榮祐、小松一元、遠藤喜平、○遠藤明、○遠藤保、○赤津喜一、○齋藤喜三郎、佐々木正直、○佐野榮治、佐藤正平、佐藤文吾、酒井三男、北林太一、木田繁雄、三森峯、○綠川莊吉、白土七之助、柴崎泰次、鴫原勇、島田鷹四郎、澁谷光哉、○人見四郎、森田正光、諸橋嘉一、◎○鈴木正好、鈴木忠雄、○鈴木健太郎、鈴木通雄、須藤德次郎。

◎印優等生　○印無欠席生

進學	三十五名
就職希望者	二十名
自家營業及自己就業	二十九名

久之濱鐵道線路に
身元不明の轢死体

双葉郡久之濱町大字北町字美町鐵道地內に年齡四十五六歲位の男の轢死体あるを十日午前五時頃通行人が發見し四倉署より神倉部長出張檢視したが、身元判明せず久之濱役場で假埋葬を行つた。

▲火見櫓建設　石城郡內鄕村大字宮火防組では寄附金を集め同村大字宮字平太郎地內に鐵骨火見櫓を建設する事になつたが、工費三百圓である。

村會議員の賭博檢擧

石城郡澤渡村大字中寺字大平農業鈴太惣五郎（五五）方で去る二日午後七時頃から同村村會議員同村下市萱字竹の內鈴木貞枝（四二）同下市萱字竹の內鈴木安芳（二四）同字根古屋桶賣國井金治（二九）同字片岸農業大谷政三（二六）の六名が十丹賭博を開した事發覺平署で取調中である

豐間大敷網で
春網の準備

石城郡豐間村大敷網は目下休業中であるか、來る四月からの春網期も近づいたので廿日頃から漁夫が來村し準備にとりかゝる豫定であると。

▲支那事變賜金　平町鎌田町陸軍步兵一等卒小野瀨美雄君は今回陸軍省から昭和三年支那事變の勤勞により金二十五圓を賜はれた旨平役場に通達された。

▲磐崎農事講演　石城郡磐崎村青年團主催講演會は八日午後一時から同村小學校講堂に開催稻田石城分場長の果樹栽培についての講演あり聽集二百余名に達した。

▲鹿島縣道改修　石城郡鹿島村大字久御地內縣道改修工事は十一日から着工三月中に竣工の豫定であるが人夫賃金は一日男六十錢である。

▲駐在所落成　石城郡好間村古河炭礦では請願巡査派出所新築工事中であつたが十日落成した。

藤原郵便局は
小學校前に移轉

石城郡磐城村大字藤原郵便局は三井炭礦が休山して以來事務もなく不要となつたので移轉すべく計劃中の處此程同村大字藤原字大畑七十八番地小學校前に移轉方認可となつたので二ヶ月以內に工事を終え移轉する筈。

▲小川組合村人口　石城郡小川組合村の現在人口戸數左の如し

▲小川村二六九戸二一一五人、（男一〇五九、女一〇五六人）

▲下小川村三五五戸一九七五人（男九八〇人、女九九五人）

勿來、錦間
道路改修工事

勿來町田ノ口より錦村に通ず道路は先年耕地整理により八尺巾としたが、錦村の果實出荷激增と勿來驛への米麥運搬の繁忙等から最近破壞甚だしく雨天の際等は殆ど通行不能の狀態にあるので田の口部落では豫てからこれが擴張及び改修を急いでゐたが、地主の承諾なきためどうする事も出來なかつたが今回同町地主高野篤太郎、亦津庄兵衛、安島松太郎、根本福太郎、諸氏が百三間だけ三尺巾を寄附する事となつたので大字でも實行部長等と諮つた上橋梁を架設する事に決したので近く工事に着手する筈で、漸く玆數年來の懸案も實現さるゝことゝなつたので地元民は欣喜してゐる、

▲茂天木神社改修　石城郡內鄕村大字御厩小社茂天木神社は源義家が奧州征伐の際馬を泊めた際祭つた神社であると傳えられてゐるが、八日大字會で工費八百圓で屋根を葺き替える事となり四月上旬着工する事となつた。

▲四倉實踐卒業式

石城郡四倉町四倉實踐水產商業學校第三回卒業式は十九日午前九時擧行する。

▲ヂフテリア發生

四倉町字新町五番地新谷セツ子（二ツ）は三月九日額賀醫師の診察の結果ヂフテリヤと判明した

相馬支局通信

原町競馬　賞金增額

東北一と稱する原町競馬も來月三日から三日間執行する事となり各方面より申込多く殊に今期は甲種の優馬非常に多くファン連待ち構へてゐるが、賞金も增額して三千九百五十となした、花に先き立つての不景氣をよそに數萬の金貨が漂ふ譯である。

▲軍事講話會

十日陸軍記念日に原町高等小學校にては千葉大尉を招聘し軍事講話會を開く。

▲堆肥講習會

相馬郡高平村農會主催にて十一日同村小學校に於て堆肥製造講習會を開催すると。

▲高等農民講習會

相馬郡農會主催の高等農民養成講習會は十日、十一日、十五、十六日の四日間縣立相馬農蠶學校内に開催の筈。

衰戀悲話　中山七里

（十二日より有聲座上映）

（物語）

原作長谷川仲先生
監督並木鏡太郎氏

生粹の江戸つ子で俠氣一徹の政吉は辰己の料亭のおさんと戀仲だつた仲間内でも羨望の的となつてゐた二人であつたが、それ好事魔多しといふ……政吉の世話になつてゐる御差屋の主人がこの美しいおさんに橫戀慕して遂々辱かしめた政吉は怒つた、遂に主人を殺して江戸を去つた。

流れ〳〵のさすらひの旅をつゞけて彼が飛彈の高山中山七里に日を送る中、ふと彼の目を射たものがある、それはおさんと瓜二つのおなかと云ふ駈落者をみたからである。

やうすらき染めた彼の胸に再び愛慾の炎がもえはじめたこの時政吉の存在を知つた岡つ引文太郎は彼を包圍したこゝに醜き愛と憎惡の爭闘がひらかれた。

戀の中山七里の峠、谷にや眞赤な蔦紅葉、誰れを慕ふて燃ゆるやら。

七里中山、峠に暮れて、宿る灯影の、見えもせで、今日も假寢の、草枕

空ゆく鳥さへ、ねぐらに歸る私やさすらひ、流れの身、ねぐら離れし、旅鳥。

飛彈高山、高いと言へど、低いお江戸が、見えはせぬ、故郷戀しや、懷しや。

役と人

川並政吉……澤村國太郎
德之介……金子新
龜久藏文太郎……尾上松綠
おさん……松浦築枝
おなか……市原義夫
其他オールスターキャスト

外務員募集

▲年齡制限なし品行方正なる人を求む
希望者は最寄代理店に御來談あれ
明治生命保險株式會社

生徒募集

產婆。看護婦

▲修業年限　兩科を通じ一ケ年
▲願書提出　三月卅一日限り
詳細は學校宛申込まれたし

婦人にも職業の必要な時代が參りました、そして婦人にふさわしい職業は產婆看護婦であります。

平町南町（電話平三〇七番）
平產婆看護婦學校
校長　清野きよ

貸家案内

◎新川町十七番地　商人向　家賃十三圓
◎同番地裏　勤人向（上等）七圓五十錢
◎同十八番地　商人向　十六圓
◎同三十一番地　二階附六圓
◎同三十三番地　商人向　八圓

平町字新川町　中野勇吉　電話一三三番

新聞配達夫入用

希望者は十日正午前後御來談あれ
平町紺屋町　磐城時報社

胃腸專門　毒梅專門

內科　淋病　婦人病　十二指腸虫病　胃性腸病　皮膚病

松村醫院
平町南町（電話一〇七）

第卅三回　石城產婆看護婦學校　生徒募集

一、卒業年限　兩科ヲ通ジテ一ケ年
一、入學資格　高等小學卒業又ハ同等以上ノ學力有ル者ヘ無試驗入學ヲ許ス
一、申込期間　四月八日迄

平町一丁目（電話三五七番）
石城產婆看護婦學校
校長　鷹崎千代

外科專門　X光線科

◎病室完備　平町南町
◎入院應需

上田外科醫院　電話一二九番

磐城佑賢學舍生徒募集

一、本科　高等科卒業程度ノ男女
一、普通科學資　尋常科卒業程度以上ノ男
一、新設農蠶科　高等科卒業程度ノ男女

右各科共ニ入學試驗ハ行ハズ願書受付順ニ入學ヲ許可ス
新學期開始　四月六日
詳細ハ規則書請求ノ事

昭和六年三月

平町六間門二十番地
磐城佑賢學舍
（電話九三）

咳止の妙藥　オピール錠

藥學博士　丹波敬三先生製藥指導
醫學博士　豊島豊次郎先生動物試驗

平町一丁目【電話四六二番】
特約店　平屋藥店

蒲田創立十週年記念超弩級大帝王篇

原作……佐藤紅綠先生（後篇十卷）
鈴木傳明・岡田時彥・田中絹代・藤野秀夫・主演

春よなせ逝く

寄贈品・六日間の品割は抽籤券御持の方は御忘れなく其の當夜御來館下さい（入場なき方は無効です）

◆三月十二日より抽籤◆

最終篇　怪盜夜叉王
市川右太衛門　旗本退屈男

曜日	抽籤日	抽籤券いろは割	一品	目
木	12日夜	い號	全部	岡田時彥 二重トンビ 他數点
金	13日夜	ろ號	全部	田中絹代 鏡臺 他數点
土	14日夜	は號	全部	鈴木傳明 自轉車 他數点
日	15日夜	に號	全部	川崎弘子 コート 他數点
月	16日夜	ほ號	全部	筑波雪子 長襦袢 他數点
火	17日夜	へ號	全部	藤野秀夫 オーバー 他數点

例へば「い」號御持參せば抽籤券を來せんなれど抽籤日につきそれぞれの「ろ」「は」「に」「ほ」「へ」號の抽籤券出來ます

料金普通　平館